

金融市場の安定化とともに 期待される世界株式の上昇

Raku Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

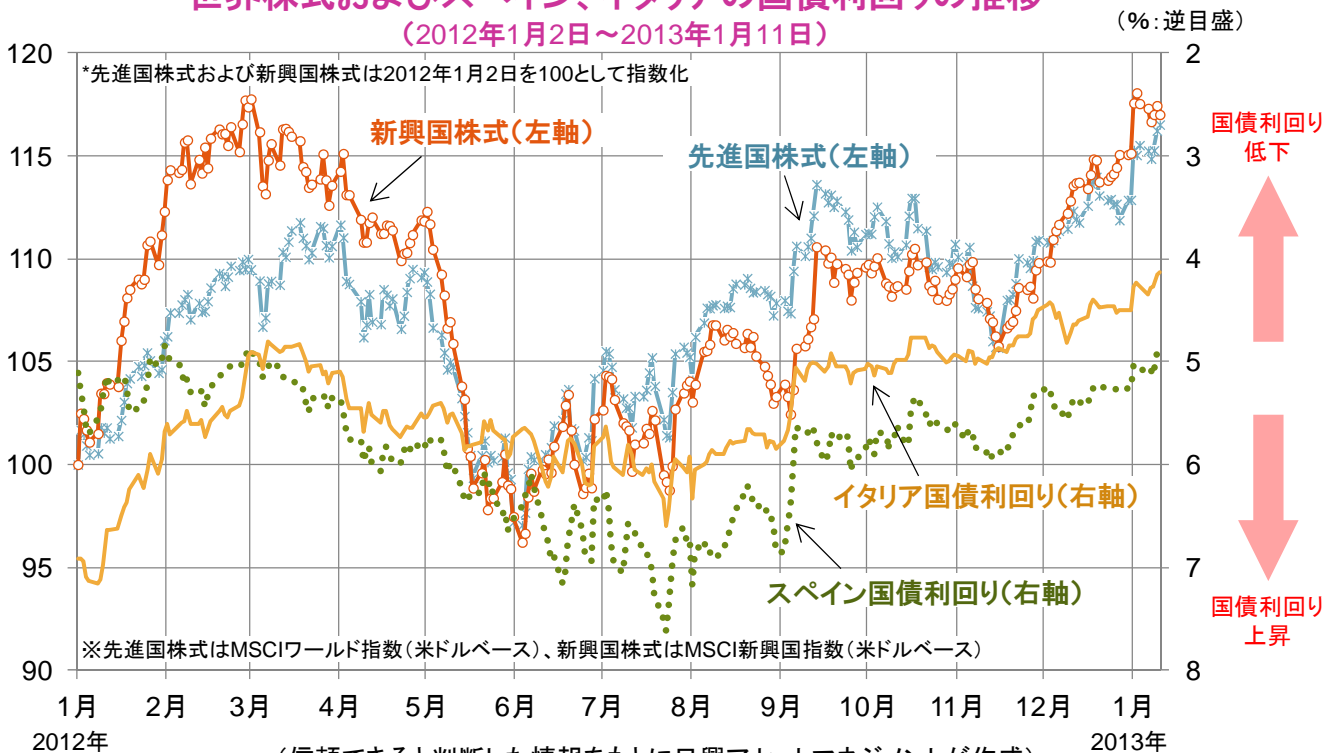
2012年の世界株式市場のパフォーマンスは、先進国で前年比+13.2%、新興国で同+15.1%となるなど好調な結果となりました。(注)パフォーマンスは、先進国株式がMSCIワールド指数、新興国株式がMSCI新興国指数(ともに米ドルベース)に基づく前半は、ギリシャ問題を巡る不透明感やスペイン、イタリアの財政再建の遅れなどに対する懸念から欧州債務問題が再燃し、5月から6月にかけて株価が大きく下落しましたが、その後は6月を底に持ち直しの動きを強める展開となりました。株価の持ち直しには、欧州債務問題の危機対策が進展したことなどが大きく影響したと考えられます。

スペイン、イタリアの長期国債利回りを欧州債務問題による金融市場の緊張を示す指標としてみると、緊張が高まって(緩んで)利回りが上昇(利回りが低下)する局面で、世界株式市場は下落(上昇)する傾向にあったことがわかります(下図)。2013年の世界の株式市場も好調な滑り出しとなりましたが、引き続き、欧州債務問題の動向が注目されています。欧州では昨年、南欧諸国などの国債を直接買い入れる新たなプログラムやESM(欧州安定メカニズム)などの仕組みが整ったことで、欧州債務問題の深刻化や広域化はある程度回避される可能性があります。こうしたことは、ユーロ圏の大国である両国の国債利回りの安定化に寄与し、世界株式市場を下支えていくものとみられます。

そうした中、主要国において積極的な金融緩和が行なわれているほか、足元で世界景気の回復期待が高まっていることなどをを受け、投資家のリスク許容度が増していることを考えると、引き続き世界株式の堅調さが期待され、中でも、成長著しい新興国株式への注目度が増すものとみられます。

世界株式およびスペイン、イタリアの国債利回りの推移

(2012年1月2日~2013年1月11日)



※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。